

地域の健康づくり支援のため、出張講座を行いました！

令和5年8月28日

筑紫野市の筑紫南コミュニティセンターにて、管理栄養士と理学療法士による出張講座を行いました。管理栄養士の講座では、「3年後の自分のために～今からできる体作り～」と題し、主食・主菜・副菜の考え方を学び、また、塩分チェック表を用いて、普段の食事内容を参加者のみなさんに振り返りました。理学療法士の講座では、「健康な体づくりのために」と題し、健康寿命を延ばすために大切なことを学び、日常生活の中で行える簡単な運動をみなさんと一緒に行いました。どちらの講座も、参加者同士での会話も弾み、ぎやかな講座となりました。今後も地域の皆様の健康や生活習慣に役立つ情報を発信し、地域との繋がりを持てるような活動を継続しておこなって参ります。



診療日のご案内

	循環器内科	腎臓内科	内分泌糖尿病内科	呼吸器内科	消化器内科	小児科	外科	呼吸器乳腺外科	整形外科	形成外科	脳神経内科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	眼瞼科	放射線科
月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
火	○	○	○	○	○	○	○						○		○			
水	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○		
木	○	○	○	○	○	○	○						○		○			
金	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○			

[受付時間]

〈平日〉8:40～11:00

*1 小児科の専門外来は要予約 *2 休診中

[休診日]

土曜日・日曜日・祝日

年末・年始（12月29日～1月3日） お盆（8月15日）

[面会時間]

〈平日・土曜日〉13:00～20:00 〈日曜日・祝日〉11:00～20:00

*面会の状況については、当院ホームページをご確認ください。

がんセミナー「乳癌について」開催のご案内

当院では、地域の皆様を対象とした「がんセミナー」を、動画配信（YouTube）にて公開しております。

ご自宅にいながら、お好きな時間に、パソコンやスマートフォンで健康に関する動画を視聴することができます。今後も医療や病気の予防に関する動画を随時公開していきます。

福岡大学筑紫病院
公式YouTubeチャンネル
にて配信中

第27回 がんセミナー

「乳癌について」

（約15分）

演者 呼吸器・乳腺外科 教授・診療部長
山下 真一

どんな人が乳癌になりやすい？自己検診の方法は？
様々な疑問にお答えしながら、乳癌についてわかりやすくお話ししています！

右記QRコードより
アクセスしていただか,
コチラ

筑紫病院 公式 YouTube
で、検索し、ご視聴ください。



交通のご案内



JR・西鉄電車ご利用の場合

西鉄大牟田線「朝倉街道駅」下車…………徒歩3分
JR鹿児島本線「天拝山駅」下車…………徒歩3分

自家用車ご利用の場合

九州自動車道「筑紫野IC」より…………車で5分
県道31号線「鳥栖筑紫野道路」武藏交差点より…………車で5分

*時間帯により、交通混雑が予想されますので、ご利用時間は目安としてください。

*なるべくJR、西鉄電車などの公共交通機関をご利用ください。

福岡大学筑紫病院ニュース

ちくし



福岡大学筑紫病院の理念

あたたかい医療

「基本理念」

私たちは地域に密着した救急医療を目指すとともに、大学病院として質の高い医療と情報を提供し、地域の皆様に安心と信頼を持っていただけるよう努めています。

その基本は「人間性に立脚した医療」、心の繋がりを大切に、患者さん本位の“あたたかい医療”を実践しています。

「基本方針」

1. 安全、安心な思いやりのある医療の実践
2. 大学病院として、高度先進医療の提供
3. 地域医療支援病院・地域がん診療病院として、情報発信とともに地域医療への貢献
4. 開かれた質の高い多職種協働によるチーム医療の実践
5. 患者の尊厳を尊重し、倫理観を備えた優しい心を持った医療人の育成



眼科紹介

眼科 診療部長 **久富 智朗**

用いた正確な診断
と手術療法を専門
としております。
今後も増殖糖尿病
網膜症や裂孔原生
網膜剥離、黄斑円孔、黄斑上膜などの網膜硝子体
疾患に対する小切開硝子体手術に注力していきます。
緑内障手術においては、フックを用いた線維柱
帶切開術、白内障手術併用眼内ドレン術の件数も
年々増えてきております。緑内障に対する線維柱帶
切除術や低侵襲緑内障手術（ trabeculotomy ab
interno,etc.）、新型レンズを用いた白内障手術等を
行っております。今後も最新の知見を取り入れながら、
正確できめ細やかな診断・治療、専門性の高い
医療を提供して参ります。多数のご紹介を頂き、最
近の6年間で手術数も約2倍に増加しております。
今後もご紹介、ご支援を賜りますよう、よろしくお願
い申し上げます。

平素より福岡大学筑紫病院の診療連携におきまして、大変お世話になっております。現在当院眼科は久富智朗、森雄二郎、下川亜沙美、高木宣典、田野貴実子、吉富景子（非常勤医）の医師6名で診療にあたっております。

臨床に関しましては、COVID-19感染症が5類感染症へ移行となり、入院前COVID-19検査は不要となつたものの、依然として外来や入院患者の陽性報告が散見されており、引き続きCOVID-19感染対策を講じながら診療を行っております。

白内障・緑内障・通常の網膜硝子体疾患に加え、裂孔原性網膜剥離、眼球破裂等の外傷、眼内炎など救急疾患も、近隣の先生方から日々多数のご紹介を頂いており、ありがとうございます。

現在我々は増殖糖尿病網膜症や増殖硝子体網膜症などの網膜硝子体疾患、緑内障、白内障など多様な疾患に対し専門性の高い医療を提供しております。特に地域の需要に応えるべく、最先端の診断機器を



診療体制

当院は2013年に新病院になり、「地域に根ざした大学病院」を目標に掲げて診療・教育・研究に取り組んでおります。眼科入院病床は10床であり、9階西病棟を中心に治療を行っております。患者さんのため、外来から入院、手術などできるだけ円滑な診断・治療を速やかに行っております。1週間に3回の回診、病棟カンファ、外来カンファ、画像カンファを元に患者情報や診断、治療方針を決定しその効果を評価しております。同時に情報や知識を共有することで若手医師を始め教育・研究も充実した効果を生み出しております。

眼科定期手術日は火曜日と木曜日で、手術室6・手術室7で2室同時に並行して手術を行っております。手術室内にはすべて映像記録伝送システムが導入されており、手術中の画像映像がリアルタイムに記録されます。また、映像記録はライブラリ化されるため管理・視聴・二次利用可能となり、患者さんやご家族への説明・カンファレンス・学会発表の

資料として活用しております。また硝子体白内障手術機械として最新のBausch&Lomb社のStellaris PCを導入し、Zeiss Resight広角観察顕微鏡システムや25Gトロッカーシステムを利用した小切開硝子体手術(MIVS; minimal invasive vitrectomy surgery)など充実した手術体制を構築しております(図1 硝子体手術)。裂孔原性網膜剥離や眼球破裂などの救急疾患では、定期手術以外にも麻醉科医師、手術部と充実した協力体制のもとに早期の緊急手術を実施しております。

▶ 外来担当医表

* 診療責任者				
月	火	水	木	金
久富智朗 *	久富智朗 *	久富智朗 *	久富智朗 *	久富智朗 *
森雄二郎	森雄二郎	森雄二郎	森雄二郎	森雄二郎
下川亜沙美	下川亜沙美	下川亜沙美	下川亜沙美	下川亜沙美
高木宣典	吉富景子 / 高木宣典	吉富景子 / 高木宣典	吉富景子 / 高木宣典	吉富景子 / 高木宣典
田野貴実子	田野貴実子	田野貴実子	田野貴実子	田野貴実子

▶ 受付時間

初診 8:40~11:00

新患紹介は「診療予約申込書」を地域医療支援センターまでFAX(092-921-0910)してください。
「診療予約申込書」は当院ホームページからダウンロードできます。
(http://www.chikushi.fukuoka-u.ac.jp)

急患のご依頼 092-921-1011 (代表)

眼科の急患依頼とお伝えください。眼科外来へお電話をおつなぎいたします。

再来 予約制 予約時間に合わせておいでください。

▶ お問い合わせ

電話 092-921-1011 (眼科外来: 2135、医療連携室: 1150)

眼科医師、視能訓練士、看護師、事務を中心とした外来診療チームです。



▲ 眼科スタッフ 前列左より：加藤皓一（助手・R5.10.1 福岡大学病院へ異動）、森雄二郎（医局長）、久富智朗（診療部長）、下川亜沙美（外来医長）、高木宣典（助手）

研究体制

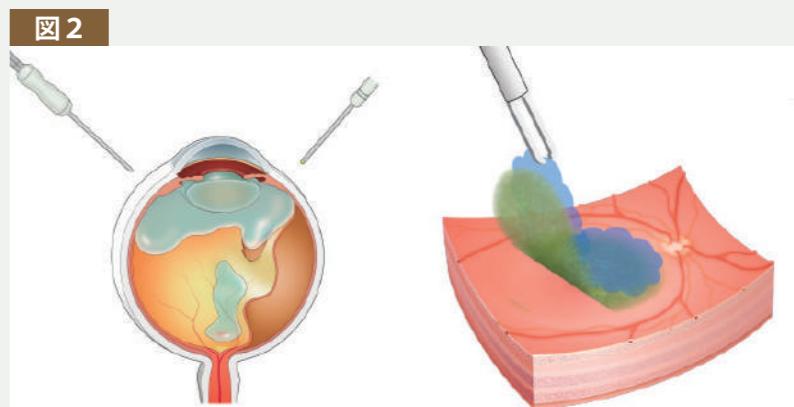
大学や診療科の垣根を超えて、企業とも積極的に共同研究を行っております。基礎研究や臨床研究とともに、研究費獲得、知財化、特許申請も行っており、基礎・臨床研究の結果を患者さんに還元できるようトランスレーショナル・リサーチに取り組んでおります。増殖糖尿病網膜症などの難治性重症網膜硝子体疾患の病態理解や治療法開発に積極的に注力しております。研究発表に関しましては、今年の日本臨床眼科学会でインストラクションコース「硝子体手術

自由自在」にて久富が発表致します。昨年は「黄斑前膜」をテーマに久富が企画、主催しました。本年は硝子体手術の最新の知見に基づき、内境界膜剥離法の問題点と最適化についてご紹介致します。

福岡大学より企業とともに国際特許を申請中の新規硝子体手術用補助剤の開発については、生化学工業株式会社と共同研究を行い、研究費を得て試作品開発を続けております(図2)。また今後の研究成果についてもご報告致します。



硝子体手術



左図は裂孔原性網膜剥離に対する硝子体手術のシェーマ。右図は現在当科で産学連携共同研究にて開発中の新規硝子体手術用補助剤の使用イメージ図。2種類の分子量の異なるヒアルロン酸に常温で重合可能な官能基を付加し、インジェクタブル、ハイドロゲル形成性ポリマーを研究開発しています(福岡大学より特許出願中)。

教育体制

初期研修医や他院からの医師を多数受け入れ、診療・教育・研究に当たっております。当院眼科の医局員の出身大学は多岐にわたり、学閥に関係なく自由闊達な雰囲気の中で新たな知識や工夫を持ち寄り、お互いに切磋琢磨して臨床業務に従事し日々研鑽を重ねております。日本眼科学会専門医制度の眼科研修プログラム施行施設として研修医の指導を行っております。眼疾患全般にわたっての診察技術、検査の習得および治療手技および手術加療の技術を習得することを目標として研修を行っております。指導医の下で一般外来診療、専門外来診療にも携わり、より深い専門知識の習得を目指します。当科は福岡大学病院、九州大学病院と緊密に学生・医師・患者連携を行っております。今後も医学部学生、初期・後期研修医、若手医師の教育にも注力していく

ます。当科は若手中心の明るく元気な診療チームで、「やる気」に満ちあふれています。

地域医療支援病院として、病診連携や逆紹介制度、患者さんへの登録医の先生方のご案内も進めしております。地域の先生方との連携を深め、患者さんから信頼され安心して受診して頂けるよう、当院の基本理念である「あたたかい医療」を行っていきます。患者さんが退院するときには必ず笑顔になって頂けるように、福岡大学から世界に向けて新しい情報発信ができるように、将来のあるべき姿を見据えながら一歩一歩着実に進んでおります。

今後も筑紫地区をはじめ地域の先生方のお役に立てるよう努力して参ります。今後とも福岡大学筑紫病院眼科をご指導・ご鞭撻頂き、重ねてご紹介を賜りますようお願い申し上げます。